

開講科目名 / Course	教育方法論	
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 前期	
開講区分 / semester offered	前期	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	3	
主担当教員 / Main Instructor	佐伯 圭一郎	
担当教員名 / Instructor	佐伯 圭一郎、麻生 良太	
必修・選択 / compulsory subject	選択	
講義形態 / Class Type	講義	
科目の目的と概要	教師による指示や発問、それに対する子どもの考察、話し合い活動、質問行動、説明、新たな課題の発見といった教授過程や理論の実際を概説するとともに、情報化社会に対応した教育内容や方法の実際焦点をあて、各種情報機器の活用について紹介する。	
到達目標	1. 教室で展開される教授過程（教師による発問から子どもによる新たな課題の発見まで）の実際を理解し、その目的や意味について説明することができる。 2. 情報機器等を活用した教育内容や方法を理解し、それを用いて教材を作成し、成績を処理することができる。	
DPとの対応	2.看護を遂行するための幅広い知識と観察力・臨床推論能力、マネジメント能力、3.心豊かな人間性と倫理観、4.より健康な社会の実現に向けて課題を見出し、改革・改善する力、5.国際性を持ち、多くの職種や人々と連携・協働する力	
授業計画	01. 情報教育メディアの活用(1) 各種教育メディアの特性と利用 02. 情報教育メディアの活用(2) 教育メディア利用の現状と課題 03. 教授学習の理論(1) プログラム学習、完全習得学習 04. 教授学習の理論(2) 問題解決学習 05. 教授学習の理論(3) 総合的な学習（プロジェクト学習） 06. 教授学習の理論(4) 協同学習 07. 学ぶ側から教える側へ(1) 模擬授業の計画 08. 学ぶ側から教える側へ(2) 模擬授業の実施 09. 学ぶ側から教える側へ(3) 授業分析の実際 10. 実践的な専門家としての教師の成長	
その他の授業の工夫	・ハンドアウトを配布し、最新の教育事情に関する話題提供も行う。 ・受講者が話し合う機会を提供する。 ・指導案を書き、模擬授業を行う。	
時間外学修	講義終了後に、配布資料に基づき、関連事項を整理し、理解すること。	
評価方法と評価割合	ショートレポート（50%）及び定期試験（50%）。	
テキスト	必要に応じてハンドアウトを配布する。	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他	特になし。	
教員の実務経験	有・無	無
	内容	
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容		